

東海放送人九条の会・
愛知大学九条の会 合同講演会

11月11日(日)

午後2時30分開場

本土の問題としての沖縄

～沖縄に移り住んだヤマトンチュウの視点から～



小林武教授のプロフィール

1941年京都市生まれ。南山大学法学部教授の後、愛知大学法科大学院教授を昨年3月に定年退職。

その後沖縄に移住。沖縄大学の客員教授として、平和的生存権や沖縄憲法史を研究。また基地と人権の訴訟に取り組むことを課題としています。

憲法学専攻。法学博士。

会場は、愛知大学 車道校舎

普天間、辺野古、嘉手納などの基地問題、オスプレイの普天間基地配備、高江のヘリパッド、尖閣諸島の領土紛争など、沖縄の鬭いを現地で体験されている小林先生に、沖縄に対する本土の感覚のズレや、本土の私たちの対応、マスコミの問題点などをお話し頂きます。



あいち九条の会代表世話人

講師は 小林武 沖縄大学客員教授

（会場地図）

合同講演会	
日 時	11月11日(日)
	午後3時開会
と こ ろ	愛知大学 車道校舎
	新館 803教室
参 加 費	500円（資料代）
	ただし、学生は無料

